

インテリアエレメント生産（インテリア類型）

教 科	工業(建築インテリア)	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 2年（選択）
使用教科書	インテリアエレメント生産（海文堂）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

「インテリアエレメント生産」はどんな科目？

インテリアは「室内」、エレメントは「要素」という意味があります。従って、「室内」を構成するための「要素」として、家具、窓やドア、照明器具など、これらを生産するための材料、加工方法、また仕組みについて学びます。

「インテリアエレメント生産」の学習の特徴は？

日常生活における具体例をあげ、また実物を見せながら授業展開します。

「インテリアエレメント生産」で大切なこと（留意点）は？

インテリアエレメント生産という専門科目を知識として理解するだけではなく、インテリア実習などの体験的学習に活用できることが大切です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第2章 インテリアエレメントの構造 第1節 家具 第1 分類 1.家具の分類と種類 2.家具の基本構造	<ul style="list-style-type: none"> • 家具の分類と種類について学習する。 • 部材の接合とその種類を学習する。 • 平板の構造とその種類を学習する。
	5	<中間考査>	
	6	第2 椅子、ベッド 1.小椅子の構造	<ul style="list-style-type: none"> • 椅子の基本的な構造を学習する。
	7	<期末考査> 2.事務用回転椅子の構造 3.ソファの構造 4.ベッドの構造	
2 学 期	8	第3 テーブル、机、デスク 1.甲板の構造	<ul style="list-style-type: none"> • 甲板の種類とその構造を学習する。 • 木製デスクの基本的な構造を学習する。
	9	<中間考査> 2.木製デスクの構造	
	10	第4 収納家具 1.枠組み構成と構造	<ul style="list-style-type: none"> • 収納家具の基本的な構成部材とその構造を学習する。 • 引出の構造とその種類を学習する。 • 戸の構造とその種類を学習する。 • 棚の構造とその種類を学習する。 • 単品家具とシステム家具について学習する。
	11	2.引出の構造	
	12	3.戸の構造	
12	4.棚の構造 5.単品家具とシステム家具 <期末考査>		
3 学 期	1	第5 その他の家具 1.和家具の構造	<ul style="list-style-type: none"> • 和家具の種類とその基本的な構造について学習する。 • 家具の強度について学習する。 • 安全性についてJISを学習する。 • 畳の材料、特徴、種類(大きさ)等を学習する。
	2	第6 家具の強度	
	3	第1章 材料と加工 第6節 その他(畳) <学年末考査>	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

観点	評価規準	評価内容
関心・意欲・態度	インテリア産業を中心とする空間の要素に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、工業社会に生きる一員としての責任を果たそうとする。	・行動観察 (授業態度、出席状況)
思考・判断・表現	インテリアエレメント生産を中心とする専門分野の知識をもとに生活全般に対する課題を設計・計画の立場から多面的・多角的に考察するとともに工業社会の変化を踏まえ公正に判断・表現する。	・定期考査 ・レポート
技能	インテリアエレメント生産の内容を視覚的にも把握できるよう図版など諸資料を収集して、理論と実際を追求し考察した過程や結果を適切まとめ、ノートづくりができる。	・ノート (プリントのまとめ方)
知識・理解	インテリアエレメント生産について、空間の構成や素材の特徴を把握し、空間設計に必要な基本的知識を身につけているとともに、企画・設計・施工と関連づけて理解する。	・定期考査

また、1年間の評定は、年間を通じて上記の内容を総合的に判断して評価します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

普段の授業を真剣に取り組み、自分にとって分かりやすいノートづくりを心がけてください。